

(学校運営協議会・報告様式)

令和8年度 第2回 牧田小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和8年8月27日(木)14:00～15:00

2 場 所 多目的室

3 あいさつ(学校長、委員長)

<委員長>

・今回の学校運営協議会は、学校保健委員会と兼ねているので、学校三師さんに是非貴重な話を述べていただき今後に繋げていきたい。よろしくお願いします。

<校長>

・間もなく2学期が始まるが、学校運営協議会委員の皆さんと学校教育目標を共有し、引き続きご支援を賜りながら学校運営を推進していきたい。

4 協議事項(学校保健委員会)

(1)保健室より (別紙)

- ・健康診断、来室状況等
- ・ノーメディア週間の取組報告

(2)保健主事より (別紙)

- ・緊急時の安全体制について
- ～アクションカードを用いた緊急時の対応について～

(3) 学校三師より

☆学校医

- ・事前配布の資料を読み込む中で、目標設定の重要性を感じた。SNS についてはニュージーランドをはじめ諸外国で様々な規制があるが、日本においては学校や保護者に頼るところが大きい。
- ・ノーメディア週間は大変意義のある取組であり、是非、続けて欲しい。
- ・緊急時の対応については関係機関と連携しながら進めてもらいたい。

☆学校歯科医

- ・親の手から離れるとブラッシングが疎かになり歯肉炎となる傾向なので、小学校の教育が大切である。
- ・緊急時の対応では心臓マッサージが大切であり、引き続き校内研修会を継続してもらいたい。エピペン対応体制もよく確立されている。

☆学校薬剤師

- ・エピペンはランドセルや職員室で預かっているとのことであり、安心するとともに自分が持っている場合も学年に応じた課題がある。

#### (4) 質疑応答・意見交換

##### ☆委員より

- ・ノーマディアとはどこまでが含まれるのか。
- ・一人一台端末活用は何でも学習と解釈することは良くない。
- ・長期休暇中は使用頻度が多くなり、睡眠不足になり、リズムに影響する。
- ・子どもから知識を得ることが逆にある。
- ・DX 推進の時代であり、正しく触れていく必要もある。
- ・アクションカードの活用は大変意義があるが、学校が抱えてしまうと責任ということに伴ってしまうので、様々な連携が必要である。
- ・しっかり他機関と相談しながらマニュアルに沿って取り組んでもらいたい。
- ・登下校の安全指導は学校だけではなく、地域との連携を深めて自助・公助・共助に努めてもらいたい。

##### ☆学校より

- ・正しいネットリテラシーを引き続き教育していきたい。
- ・危機管理マニュアルの形骸化を防ぎ、地域や家庭と連携しながら様々な安全指導を推進し、常に多角的に検証しながらブラッシュアップしていく。